

「石巻」支援とは？

1 最大の犠牲者を出した被災地へのエール

東日本大震災で、いわゆる「石巻圏」（石巻市、東松島市、女川町、雄勝町）では、沿岸部ばかりか、山間部でも川を遡上してきた津波などで、6000 人を超す、多くの犠牲者が出、各地の復興もようやく軌道に乗ったところです。しかし、想像してください。6000 人にはその数倍の家族・親戚・友人がいます。その心の傷は、12 年経過しても癒やされることはありません。

2 「カンタータ大いなる故郷石巻」（以下「カンタータ」と略）

① 1973 年以来、10 年ごとの石巻市制施行記念行事

市制記念行事で演奏する目的で、石巻市が、伊福部昭氏の弟子で石巻出身の小杉太郎氏に作曲を、石島恒夫氏に作詞を委嘱。1973 年 40 周年で、小林研一郎指揮で、「カンタータ大いなる故郷石巻」を初演。斎太朗節やキリスト教の教会音楽など石巻の古代からの歴史に沿った土俗的な音楽。踊りも加わり、フィナーレは、「大いなる石巻を讃えよう」と壮大なスケールの曲です。

以後、10 年ごとにこの曲を多くの市民参加で開催してきました。

しかし、3・11 で、合唱団やオーケストラメンバー、その家族など多数の市民が亡くなり、演奏会場も無く、2013 年の開催が危ぶまれましたが、市民の強い要望で、総合体育館に観客 1500 人満席で開催。涙の感動的な演奏会となりました。

② 2013 年、首都圏から応援参加

石巻市民交響楽団と石巻合唱連盟からの要請で、2012 年 3 月石巻専修大学での犠牲者追悼・復興祈念特別演奏会での首都圏で独自練習したうえで合唱 9 名、弦楽器 16 名参加しました。その翌年 6 月、上記「カンタータ」演奏会に対しても同様の要請があり、合唱 12 名、弦楽器 15 名が参加しました。2023 年は市制施行 90 周年になります。

③ 2015 年、2018 年に石巻以外で唯一首都圏で演奏

この 2 回の遠征で相互の人的交流が深まり、毎年 3 月に開催していた埼玉県和光市での「和光 3・11 を忘れない」コンサートに、石巻市民交響楽団と石巻合唱連盟有志がバスで遠征、カンタータ大いなる故郷石巻」演奏に首都圏のメンバーとともに感動の演奏をしました。

そしてソリストも渡邊かれんさん、三浦梓さん、渡邊公威さんや、多くの在京石巻出身者の参加があり、また、2015 年は第 4 楽章だけだったのが、2018 年には「全楽章」演奏。その際の首都圏参加者は、合唱は高校生や児童合唱、石巻からの遠征で 350 名を超え、オーケストラも 70 名が参加。

次回は石巻では、市制 90 周年記念 2023 年で！と別れました。

3 オケと合唱団

・石巻市民交響楽団—今回のメインオケ。応援要請—主に弦楽器。管楽器等は一部不足につき応談。

アマオケでは宮城県最古、昨年結成 40 周年を迎えた伝統ある市民オケも、3・11 もあって団員減少。

特に弦楽器が不足。仙台や首都圏の応援参加も加えながら、現在は、6 月のファミリーコンサート、11 月の定期演奏会などで活発に活動中。足立現団長が、本「カンタータ」演奏会実行委員会委員長（石巻文化協会会長）。

・石巻合唱連盟—応援要請—男声不足。女声は若干名

3・11 では、過去「カンタータ」を共に歌ってきた男声、女声の出演者も犠牲となり、特に「ソプラノ」「男声」が不足。

4 石巻総合複合文化施設「マルハンまきあーとテラス」

3・11 で被災した石巻文化センターと市民会館に代わる文化交流拠点として「複合文化施設」の整備を計画。

1250 席の大ホールや展覧会が開ける展示室、研修室、ギャラリーなどを備え、ロビーを使ってイベントを開くなど市民が気軽に利用できる施設。2021 年 4 月完成。

なお、総工費 130 億円は、復興支援資金や民間からの寄付。「和光 3・11 を忘れない」実行委員会からも過去累計 164 万円を寄付しました。

5 石巻遠征の交通手段と宿泊（費用自己負担）

① 事前練習—2 月以降、月 1 回程度、土日どちらかでの和光市朝霞市での合唱とオーケストラ別の練習を行います。

② 交通手段と宿泊—バスチャーター、マイカー分乗、長距離バス、電車など移動手段や、宿泊場所も希望を取り、

アレンジします。これによって自己負担の金額も変わります。（参加費は首都圏練習費用に充当）